

令和5年度（2023年度）事業報告書

1 令和5年度（2023年度）主な出来事

4月1日よりベリーズルームの併設ユニットとして「メゾンドペコラ1号2号」が設置スタートとなり定員10名のところ令和6年4月現在、満床となっている。

令和5年度施設整備国庫補助金決定し「就労継続支援B型事業所ラボーレペコラ」の令和6年4月1日開所に向け新築施工、3月27日に引渡されている。

気仙沼オイカワデニム様より糸切りの委託事業とデニムのあまり生地も引き続いてご寄付いただいている。その生地で作成したデニムバックは岩手県社会福祉協議会様より高評価いただき、雫石町「ゆこたん」温泉施設に展示販売をすることになった。

「道の駅むろね」では

就労継続支援B型事業所ラボーレペコラより、惣菜はじめ農作物や植物雑貨など出荷している。特に「室根いわいどり」のオヤマブロイラー様より有精卵を使用した「有精卵のだし巻き卵」や「タマゴサンド」が人気。

いちのせき市民活動支援センター様のご協力により、「じもっと基金」にエントリーし、地元の方々特に津谷川16区から沢山のご寄付が集まり、ほまれの会の周知が実感された。

2 各事業の実績に関する事項

●「共同生活援助事業所ベリーズルーム」定員5名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	4名	4名	4名	4名

●「メゾンドペコラ1号」定員5名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名

●「メゾンドペコラ2号」定員5名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	2名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	4名

利用区分2～4 内訳：精神障害3名（内 発達障害1名）、知的障害2名、身体障害なし

●「就労継続支援 B 型事業所ラボーレペコラ」定員 20 名

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	27 名	29 名	28 名	28 名	28 名	27 名	27 名	27 名	27 名	27 名	27 名	27 名
開所日数	22 日	23 日	22 日	23 日	23 日	22 日	23 日	22 日	23 日	21 日	20 日	22 日

月日	会議・行事・活動等	場所	備考
4 月	歓迎会お花見バーベキュー 利用者支援検討会議 じもっと基金キックオフ会議	ラボーレ屋外 ラボーレ事務所内 なのはなプラザ	
5 月	実習生受け入れ 利用者支援検討会議	ラボーレ ラボーレ事務所内	清明支援、明峰支援
6 月	誕生会お寿司 利用者支援検討会議 ほまれの会総会	ラボーレ室内 ラボーレ事務所内 ラボーレ事務所内	
7 月	誕生会七夕 健康診断 利用者支援検討会議	ラボーレ屋内 千厩体育館 ラボーレ事務所内	
8 月	夏祭り 利用者支援検討会議 就労 B 建設入札会 理事会（入札・契約）	ラボーレ屋内 ラボーレ事務所内 ラボーレ事務所内 ラボーレ事務所内	
9 月	ハロウィン 利用者支援検討会議	ラボーレ屋外 ラボーレ事務所内	
10 月	収穫祭 実習生受け入れ 餅おふるまい 芋煮おふるまい 利用者支援検討会議	ラボーレ屋外 ラボーレ 道の駅むろね 道の駅むろね ラボーレ事務所内	清明支援、明峰支援
11 月	芋煮・避難訓練 ソフトバレー 利用者支援検討会議 臨時支援会議	ラボーレ屋外 きらめきパーク ラボーレ事務所内 ラボーレ事務所内	
12 月	クリスマス会 利用者支援検討会議	ラボーレ屋内 ラボーレ事務所内	
1 月	実習生受入 1 名	ラボーレ	

	利用者支援検討会議	ラボーレ事務所内	
2月	節分恵方巻き 利用者支援検討会議	ラボーレ屋内 ラボーレ事務所内	
3月	ひな祭り 利用者支援検討会議	ラボーレペコラ ラボーレ事務所内	

3 研修等に関する事項

月日	研修名（受講人数）	場所	概要
5月25日	HASAPP 研修	室根曲ろくホール	食品衛生法についての理解を深める
6月22日	リーキ研修	道の駅むろね食堂	
9月28日	デニム販売研修	雫石ゆこたん	
10月18日	食の研修	北上	
1月5日	サビ管更新研修	WEB 研修	
1月19日	サビ管更新研修	ふれあいランド	
2月23～27	令和5年度社会福祉主事スクーリング	ロホス湘南	障害者虐待防止法の理解と対応について
2月24、25	日本一に選ばれた道の駅研修 キッチンカー研修	ウェブ研修 あら伊達な道の駅	
3月16日	道の駅で売れるもの売れないもの研修	横浜	
3月25・26	らら岩手展示販売研修	室根市民センター らら岩手	

4、全事業の目的

障害サービス事業全般における支援は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ちながら、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように配慮するとともに、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行います。

また利用者に提供されるサービス等が特定の種類又は特定の事業者に不当に偏ることのないよう、公正中立に行います。調整に当たっては、市町村及び多様な事業者との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善及び開発に努め、自らその提供する支援の評価を行い改善を図るものとします。

5、ほまれの会理念

支援の対象は、障害総合福祉法に定める障害者、その可能性がある者及びその家族等とします。また福祉制度を利用する際の相談のみでなく、障害、疾病などの理由があつて生活のしづらさ、困

難を抱えている人びとに福祉、医療サービス利用の如何にかかわらず幅広く対応します。

当法人は、障害者の意向を尊重し、多様なサービスを総合的に提供するよう創意工夫することにより、障害者が自立した生活を地域社会において営むことができるように支援いたします。

また、室根の美しい自然に恵まれた環境の中で、四季を感じることの大切さを知り、利用される方が自分らしさを取り戻し、落ち着いた生活を送ることを目指します。

6、来年度(2024年度)の目標

この室根地域には林業と農業、また気仙沼の漁業を複合させた人口によっては代替えされない、手仕事を生み出す可能性がまだまだある。津谷川はじめこの地区は特に高齢化が進みつつあり、限界集落にあるうえ、さらに高齢者の増加以上に障害者が増加傾向にある。

宮城と岩手の県境にあり、その双方のニーズに沿った事業が必須であると私たちは考えている。